



名古屋市健康福祉局健康増進課では 3 月と 9 月にメンタルヘルスの大切さ等を周知啓発するため「こころの絆創膏」キャンペーンを市営地下鉄構内や街などで行っています。

このキャンペーンに際し、鯉城会はボランティアで配布協力をしてきています。

今回は 3 月 2 日(月)に地下鉄栄駅構内で「こころの絆創膏」と新規作成された名古屋市いのちの支援広報キャラクター「うさじ・ひよ吉」シールの配布(手配り分)にボランティア参加しました。

「こころの絆創膏」の絆(ばん)の字は「きずな」と読みます。悩みが小さいうちにと、人と人の絆で手当てしたいという想いを込めて名付けられています。

又、市民の皆様とともにこころの不調への気づきや見守りを促す活動を広げていきたいとの思いから当該キャンペーンは実施されています。

本キャンペーンで配布する携帯用「こころの絆創膏」には、うつ病に関する症状や相談窓口の情報を掲載しています。

配布時間・人数は、午前は 8 時 30 分～9 時に 8 区会 16 名、夕方 17 時 30 分から 18 時は 8 区会 23 名が参加しました。



場所は昨年までは金山総合駅でしたが、コンコース改修工事中ということで、栄駅に変更となりました。

配布に先立ち、名古屋市からこころの絆創膏(100 枚/人)とうさじシールは別々に配布してほしいと依頼がありましたが、両方を一緒に配布する場合、別々配布の場合は社会人には絆創膏を中心に、学生など若い人にはシールを中心に受け取ってくれました。

世間ではシールの流行っているようです。

参加の皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。



午前の配布の様子



午後の配布の様子

<u>こころの絆創膏キャンペーン配布参加者(実績)</u>			
<u>3月2日(月)実施</u>			
()		内は参加予定者数	
午前(8:30~9:00)		午後(17:30~18:00)	
区	人数	区	人数
熱田	(2) 2	千種	(2) 2
中川	(2) 2	東	(2) 3
港	(2) 2	北	(2) 2
南	(2) 2	西	(2) 2
守山	(2) 1	中村	(2) 2
瑞穂	(2) 2	中	(3) 5
名東	(3) 2	昭和	(2) 2
天白	(3) 3	緑	(5) 5
計	(18) 16	計	(20) 23

以上